

剥離剤の基礎知識

●剥離剤の分類

	アルカリ剤	酸	溶剤	界面活性剤	水
アルカリ性剥離剤	○	—	○	○	○
酸性剥離剤	—	○	○	○	○
中性剥離剤	—	—	○	○	○
溶剤系剥離剤	—	—	○	—	—

●成分

アルカリ剤 : 有機汚れを分解する効果がある。一定量の水と共存しないと効果が出ない。主に溶剤と相性のいい有機アルカリ(MEA)が使われる。20%以上含有すると劇物となる。

酸 : カルシウム塩・マグネシウム塩などの金属成分を分解する。一定量の水と共存しないと効果が出ない。

溶剤 : 主にアルコール系溶剤・グリコール系溶剤。引火性あり。油性成分の溶解力が強い。引火性の無いフッ素系溶剤、塩素系溶剤、臭素系溶剤は使われなくなってきている。

界面活性剤 : 溶剤と混ざりにくいアルカリ・酸成分を液中で安定化させる効果がある。

●推奨する製品

R-4055D : アルカリ剥離剤

R-4270 : アルカリ剥離剤

R-4260 : 劇物アルカリ剥離剤

R-4250 : 酸性剥離剤

R-4052C : 中性剥離剤



※ 加温、超音波を併用すれば、作業時間の短縮が可能です。

剥離後は水リンスが必要です。

含水量の少ない剥離剤は、水分の蒸発により、引火性を持つ可能性があります。高温使用の場合、水分管理が必須となります。

弊社剥離剤は強力でプラスチック系の素材を侵す事があります。使用前に必ず予備テストを行って下さい。